



西浜通信

茅ヶ崎市立西浜小学校

2026年6月30日

7月号

校長 木村 千裕

学校教育目標 ～人間性豊かでたくましく 主体的に行動する児童の育成～

【学校スローガン】「自分も人も大切に“笑顔あふれる西浜小学校”をめざして」

【めざす子どもの姿】 すすんでやる子 がんばる子 思いやりのある子

「響働」の喜び



正門を入ると、校舎に向かう緩やかな坂があります。その坂の両側で色鮮やかなマリ
ーゴールドや日々草などの花が出迎えてくれます。この花は、6月6日（土）に「花の会」
によって植えられたものです。「花の会」は平成14年の創立50周年の際に「西浜小学校
を花いっぱいにしよう」「学校・保護者・地域のふれあい活動を大切にし
よう」という願いから始まった誰でも参加できる活動です。当初から
活動をとおして大人も子どもも共に働き、心を響かせ合う「響働」の喜
びを味わうことを大切にされてきたそうです。花の苗植え活動を毎年3
回行っており、今回は10月頃の開催となりますので保護者の皆様も
地域の皆様も、是非「響働」を味わいに来てみてください。

6月22日から23日にかけて5年生のキャンプがありました。キ
ャンプの目標のひとつに「自分で考えて動いたり仲間と協力したりし
ながら楽しいキャンプを作りあげよう」が掲げられていました。普段
と違う環境の中で、仲間の新たな一面や良さに出会い、互いの絆が深
まったことと思います。また、自ら主体的に考え行動し、仲間と協力して自分たちでや
り遂げたことで、学校に帰ってきたときの5年生の姿は、疲れてはいたもののキャンプ
に行く前よりちょっぴり逞しくなった気がしました。



キャンプ当日には、1年生の保護者の方を対象に、学校給食への理解を深めていただく
ことを目的とした給食試食会を開催しました。事後アンケートを拝見したところ、「給食が
おいしかった」ことともに、野菜などの子どもが苦手な食材をどう食べてもらうかに苦労
されていることが書かれていました。「学校あるある」のひとつに、「家では絶対残すのに、
なぜか学校の給食だと苦手な食材も食べられる」があります。それは、みんなで食べる
「共食」の力が大きいと考えられます。こうした学校給食の機会と同時に、
ご家庭でも子どもたちの苦手な食材を食卓に並べることは、自発的な「食
べる意欲」を育てるためには必要なんだと考えます。そして、お家の方が
その食材を「おいしい」と食べている姿を見ることで、子どもに「自分も
いつか食べられるかもしれない」という思いと興味が芽生えると思います。



6年生のみなさん、ありがとう！

6月1日から始まった水泳学習。今年度は雨が降ったり、気温が低かったりとプールに入れる機会が
少なく残念です。楽しみにしている児童が多い水泳学習ですが、そのプールをきれいに掃除してくれた
のが6年生です。デッキブラシやたわしなどを使いプールを磨いてくれました。6年生のみなさん、い
つも西浜小学校を支えてくれてありがとう。

